

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 9月 4日

(提出先)
横浜市長

住所 東京都大田区羽田空港1-7-1

氏名 株式会社エージーピー
代表取締役社長 日岡浩之

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社エージーピー 代表取締役社長 日岡浩之		
主たる事業所の所在地	東京都大田区羽田空港1-7-1		
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）		
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	<ul style="list-style-type: none"> ■小売電気事業 ・供給区域：沖縄電力管内を除く全国 ・オフィス、工場、学校等の高圧需要家及び一般家庭向けに販売 ・丸紅新電力株式会社を代表するバラシググループに属しています。 		
担当部署 連絡先	事業所名	株式会社エージーピー	
	部署名	電力事業部	
	電話番号	03-3747-1634	
	E-mail	agpdenki@agpgroup.co.jp	

2 対象年度

提出年度 (当年度)	2020年度
---------------	--------

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ■発電事業者等に係る取組方針 ・再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでいる丸紅新電力株式会社から電力を調達しています。 ■電源調達に係る取組方針については、 ・バラシググループの代表である丸紅新電力株式会社の方針に準じます。 ■その他の温暖化対策に係る取組方針 ・お客様向けに「電気の手順な使い方」を案内しています。 ・小売電気に併せ、『BEMS製品』の販売により、電力使用量を削減する提案をいたします。
--

4 推進体制

- 発電事業者等に係る推進体制
 - ・ 「電力事業開発部」では、収益性・環境性を考慮し、電力調達先を選定しております。
- その他の温暖化対策に係る推進体制
 - ・ 「電力事業開発部」では、より多くの再生可能エネルギーの調達に向け、検討をしております。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	問い合わせがあった際に提出します。

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

- ・ 需要家との会話の中で、「電気の上手な使い方」を具体的に紹介し、省エネ意識を高め、実践頂くことで使用電力低減に結びつくよう働きかけをしています。
(例：待機電力削減に向け、長時間使用しない電気製品のコンセントを抜く。LED電球を使う。等)
- ・ 『BEMS (Building Energy Management System)』の販売を行うことで、電力使用量削減のご提案をしています。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可
	備考	

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	2019年度	2020年度	2030年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数		0.447	0.412	2020年度以下
把握率 (%)		100	—	—
調整後排出係数		0.403	0.372	2020年度以下
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	・前年度お排出係数の提出の為、増減ありません。			
排出係数の抑制措置のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを多く含んだ調達に向け検討を行っています。 ・電源調達については、丸紅新電力株式会社の方針に準じます。 			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量		5179	2111
市内		15	18

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	13110	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)			0	0.00
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)			0	0.00
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
未利用エネルギー			0	0.00

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量				0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー・未利用エネルギーを多く含んだ調達に向け、検討を行っています。 ・電源調達については、丸紅新電力株式会社の方針に準じます。
--

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

<ul style="list-style-type: none"> ・全事業分野における具体的な行動を通じ、低炭素・循環型の持続可能な社会を実現すべく活動を継続して行っております。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地上動力設備 (GPU) の利用促進により、駐機中航空機からのCO2排出削減と地上騒音を低減することで、空港の環境保全に取り組んでいます。 2. エコ・エアポート活動に積極的に参画し、地域と共生できる環境に優しい空港づくりに取り組んでいます。 3. 全ての事業活動において省資源・省エネルギーに努め、環境保全の意識向上に取り組んでいます。
